

事項	アルストロメリア新品種の特性と株管理						
ねらい	アルストロメリアの生産性は品種間差が大きく種苗の購入経費が高いため、品種選定が重要な課題となっている。近年市販された新品種の、本県における品質及び収量と株の管理方法について明らかにしたので参考に供する。						
指導 参考 内容	1 新品種の特性						
	品種名	花色	切り花長 (cm)	小花数 (個)	茎径 (mm)	2L, L割 合 (%)	年間採花本数 (本/株)
	コンスタンス	クリーム	150~180	5	6~8	70~80	40~45
	スノータイム	白	130~140	5~6	6~8	70~80	35~40
	ロザンヌ	淡橙	110~120	5~6	7	75~85	35~40
	セレステ	淡紫桃	140~160	5	6~7	70~80	25~30
	シャノン	淡桃	120~130	6~7	6~7	50~60	25
							
	コンスタンス		スノータイム		ロザンヌ		
							
セレステ			シャノン				
2 採花期及び株の管理方法							
品種名	採花期及び株の管理方法						
コンスタンス	採花は3月と7月がピークとなるが、春から秋を通じて多く採花できる。7月以降は若干過繁茂となるので適宜葉芽の抜き取りを行う。						
スノータイム	採花は5月と7月がピークとなるが、春から秋を通じて多く採花できる。採花過多で株を衰弱させない様、適宜摘蕾する。						
ロザンヌ	採花は安定して長期間続き、秋期にも採花本数は多い。10月以降に混み合って軟弱化するので、適宜葉芽の抜き取りを行う。						
セレステ	採花のピークは年次によって異なるが一定期間に集中する傾向がある。立茎数が少ないので株を衰弱させない様、適宜摘蕾する						
シャノン	採花は夏秋期に多い傾向がある。年間を通じて立茎数が多く、混み合って軟弱化するので、適宜葉芽の抜き取りを行う。						
期待される効果	1 アルストロメリアの地域適品種の作付け拡大が見込まれる。 2 時期別の収穫本数が把握され、計画生産が可能となる。						
利用上の注意事項	本事項は地中冷却を行わず、冬季5℃加温を行った結果である。						
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 花き部 (0172-52-4341)				対象地域	県下全域	
発表文献等	平成25~27年 試験成績概要集 (農林総合研究所)						

【根拠となった主要な試験結果】

表1 切り花品質

(平成25～27年 青森農林総研)

品種名	花色	切り花長 (cm)			小花数 (個)			切り花重 (g)			茎径 (mm)			2 L, L 割合 (%)		
		平25	平26	平27	平25	平26	平27	平25	平26	平27	平25	平26	平27	平25	平26	平27
コンスタンス	クリーム	180	149	147	5.4	5.3	4.9	147	97	75	7.7	6.9	6.3	85	81	71
スノータイム	白	129	135	128	5.9	6.0	5.3	118	95	67	8.0	7.3	6.3	97	85	68
ロザンス	淡橙	121	114	117	5.3	5.5	5.4	83	73	65	7.1	7.0	6.5	87	88	75
セレステ	淡紫桃	158	140	141	4.7	4.9	4.8	107	77	72	6.8	6.5	6.3	78	83	75
シャノン	淡桃	134	124	120	6.7	6.2	5.8	87	71	56	6.7	6.4	6.0	72	57	44
レベッカ	桃赤斑	166	148	142	4.2	4.7	4.6	128	81	70	6.5	6.4	6.2	70	67	61
オルガ	白	152	150	151	4.8	4.8	4.6	103	82	72	7.2	6.6	6.3	78	80	72

(注) 「レベッカ」、「オルガ」は標準品種。以下、同様

表2 採花本数及び2L・L本数 (平成25～27年 青森農林総研)

品種名	採花本数 (本/株)			H25～27年通算		
	平成25年 9～12月	平成26年 1～12月	平成27年 1～12月	採花数 (本/株)	2 L, L本数 (本/株)	2 L, L率 (%)
コンスタンス	7.7	45.7	43.0	96.4	77.7	76.8
スノータイム	6.8	40.5	36.2	83.5	71.2	77.8
ロザンス	8.7	35.7	38.1	82.5	72.0	81.8
セレステ	5.2	23.0	29.2	57.4	47.6	78.6
シャノン	8.2	25.0	24.8	58.0	37.0	53.2
レベッカ	4.0	21.4	31.9	57.3	37.9	63.9
オルガ	5.5	22.6	27.4	55.5	45.9	75.9

(注) 1 採花本数は規格外を除く
 2 2L規格: 切り花長90cm5花5蕾茎径7mm以上
 3 L規格: 切り花長80cm4花4蕾茎径6mm以上
 4 2L, L率: 全採花数(規格外を含む)に対する2L, L本数の割合(%)

表3 月別採花本数

(平成26～27年 青森農林総研)

年次	品種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成26年	コンスタンス	2.5	3.2	5.5	1.7	2.0	9.8	5.3	6.8	2.7	2.7	2.3	1.2	45.7
	スノータイム	1.8	3.0	3.3	1.2	5.0	7.3	5.7	5.2	2.2	1.5	1.3	3.0	40.5
	ロザンス	1.3	2.7	1.2	0.7	3.8	6.0	4.2	4.8	5.8	3.0	1.0	1.2	35.7
	セレステ	1.8	1.5	2.2	0.3	0.0	0.0	3.8	3.7	5.7	1.8	0.7	1.5	23.0
	シャノン	1.2	1.7	2.8	1.7	1.5	1.5	5.0	2.5	2.5	2.8	0.8	1.0	25.0
	レベッカ	1.5	1.7	1.5	1.8	0.0	0.7	3.7	4.5	1.8	0.7	2.0	1.5	21.4
	オルガ	1.2	2.7	2.2	0.2	0.0	0.2	4.5	5.0	2.2	2.0	1.2	1.2	22.6
平成27年	コンスタンス	0.8	3.2	5.7	6.5	4.8	3.7	7.5	2.7	4.5	1.8	1.5	0.3	43.0
	スノータイム	1.5	1.5	4.3	1.8	6.3	0.2	6.0	2.7	3.5	4.3	2.3	1.8	36.2
	ロザンス	2.0	0.8	4.2	5.5	7.2	4.5	2.3	1.0	4.0	4.3	1.3	1.0	38.1
	セレステ	1.3	2.7	1.7	4.2	1.8	0.5	6.5	2.2	2.8	3.5	1.5	0.5	29.2
	シャノン	0.8	1.2	2.0	2.8	2.5	1.7	2.8	0.8	3.3	3.7	1.7	1.5	24.8
	レベッカ	1.2	4.5	3.7	5.0	1.0	0.5	4.3	2.7	3.2	2.8	2.0	1.0	31.9
	オルガ	0.8	2.7	5.8	4.0	1.3	0.5	1.5	1.7	2.2	3.7	2.5	0.7	27.4

(注) 1 採花本数は規格外を除く。網掛け部分は採花のピークを示す(月に5本/株以上採花)
 2 濃い網掛けの部分は2ヶ年で採花のピークが同一の月を示す

表4 立茎数、花芽率の推移

(平成26～27年 青森農林総研)

品種名	平成26年(定植2年目)								平成27年(定植3年目)							
	立茎数(本)				花芽率(%)				立茎数(本)				花芽率(%)			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
コンスタンス	49	60	60	69	19	11	7	7	78	78	86	84	11	9	6	7
スノータイム	48	54	58	74	16	16	8	9	88	70	82	80	9	11	8	8
ロザンス	50	61	69	81	11	6	8	5	86	68	67	87	10	11	6	8
セレステ	41	46	59	62	11	6	5	7	57	56	68	64	8	8	7	7
シャノン	48	54	66	82	14	8	7	5	91	78	88	92	7	7	6	7
レベッカ	46	56	67	73	8	6	4	4	71	65	77	79	8	12	5	8
オルガ	42	45	50	63	15	9	4	8	70	68	66	75	11	7	6	12

(注) 1 立茎数は1株当たりの茎立ち本数(本)。花芽率は立茎数における花芽数の割合(%)
 2 花蕾を除去したシュートは葉芽として計測

耕種概要

項目	内容
1 定植日	平成25年5月20日
2 施肥量(kg/10a)	基肥 窒素:りん酸:加里=1.5:2.0:1.5 (初年目) 追肥 窒素:りん酸:加里=0.2:0.1:0.2×20回/年(2・3年目)
3 栽植様式	ベッド幅90cm、通路70cm、株間40cm、条間60cm、2条千鳥植え
4 温度条件	最低温度5℃